

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 11 日(2022.10.11)

【公開番号】特開 2021-55442(P2021-55442A)

【公開日】令和 3 年 4 月 8 日(2021.4.8)

【年通号数】公開・登録公報 2021-017

【出願番号】特願 2019-180752(P2019-180752)

【国際特許分類】

E 0 4 H 1/12(2006.01)

10

E 0 4 B 2/74(2006.01)

E 0 4 B 9/00(2006.01)

E 0 4 B 9/04(2006.01)

E 0 4 B 9/06(2006.01)

F 1 6 B 9/02(2006.01)

【F I】

E 0 4 H 1/12 A

E 0 4 B 2/74 5 3 1 N

E 0 4 B 9/00 H

E 0 4 B 9/04 A

20

E 0 4 B 9/06 B

E 0 4 B 2/74 5 3 1 R

F 1 6 B 9/02 C

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 30 日(2022.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柱部材と梁部材とによって形成される空間構造体の前記柱部材を支持するアジャスタであって、

鉛直方向に所定の高さを有する壁面と、鉛直方向に上下し得る高さ調節機構とを有し、床面に載置されるベース部と、

前記高さ調節機構の上部に支持される被支持部と、当該被支持部よりも下方に延び、前記ベース部の前記壁面と前記被支持部との間に生じる間隙の少なくとも一部を覆うための外壁面とを有する柱支持部と、

40

を備えるアジャスタ。

【請求項 2】

前記高さ調節機構を覆うカバーをさらに備える

請求項 1 に記載のアジャスタ。

【請求項 3】

前記高さ調節機構は、前記ベース部が備えるネジ孔と、当該ネジ孔に挿入されるネジを含む

請求項 1 又は 2 に記載のアジャスタ。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のアジャスタと、

50

鉛直方向に延び、前記アジャスタの上部に接続される前記柱部材と、
水平方向に延び、前記柱部材と垂直に接続される前記梁部材と、
を備える空間構造体。

【請求項 5】

前記柱部材は、当該柱部材の軸心方向に沿って延びた開口部を前記柱部材の側面に有する半閉空間である柱側溝部を有し、

前記カバーは、前記ベース部と、前記柱部材とに接続され、

前記カバーは、前記柱側溝部に挿入されたナット状部材とボルトで締結されることにより接続される

請求項 2 を引用する請求項 4 に記載の空間構造体。

10

【請求項 6】

平行に設けられる前記梁部材を少なくとも含み、

前記平行に設けられる梁部材間に架設され、電気設備、消防設備又は換気設備を設置するための設置孔を有する天井パネルをさらに備える

請求項 4 又は 5 に記載の空間構造体。

【請求項 7】

前記梁部材は、当該梁部材の軸心方向に沿って延びた開口部を前記柱部材の側面に有する半閉空間である梁側溝部を有し、

前記天井パネルは、前記梁側溝部に挿入されたナット状部材とボルトで締結されることにより接続される

20

請求項 6 に記載の空間構造体。

30

40

50